

固化した
粉体を
簡単に
取り出せる

粗碎機

砕き太郎

特徴/用途

- 上下に凸凹のロールを複数配した構造です。品物の固さに応じた圧接力を調整して使用します。
- 最初の1番ロールは弱く、挿入を容易にして、2番ロール3番ロールで砕きが仕上がる様、調整します。
- 調整後、袋体をコロコン上に乗せて、軽く押してやるとベルコンで自動的に送られて、圧接ローラーを通過して、次の工程に送られます。
- 難物の粉碎には、リターンして往復破碎して、対処することも可能です。(オプション)

解碎実績

(クラフト袋)紙袋

食塩類・クエン酸・酢酸ソーダ・ピールホップ・フレーク・砂糖・ココア・ブドウ糖・キャラメル・レモン氷塊・重炭酸カリアンモニウム・ホウ酸・パトールエンシルホン酸・ロダンアンモン・硝酸ニッケル・原料蠟・ラクタム・炭酸水素アンモニウム・硝酸アンモニウム・リン酸カリウム・グルタミン酸ソーダ・樹脂ペレット・クイントン系ペレット その他



KT-103W 連続投入式

電源	AC200V
出力	750W 1,500W 各1台
機械寸法	長さ2725×巾925×高さ1420
重量	約700kg
最大袋寸法	巾550×厚み150
能力	約9袋/分

使用例

- 保存した製品を出荷する時、固化をほくして出す。
- 原料として入庫した粉体が固化した場合に使用する。

過去の勝れた使用例

或る倉庫会社で出荷する製品の固化した物の処理に数名の作業員が、毎日棒等を使って殴打していた。これらの作業は、高齢者が多く腰痛等の問題が絶えず起こっていた。従って本“砕き太郎”を持ち込みテストを行った結果、100袋を10分程度で処理して、作業員を啞然とさせた。

